

第 46 回北区区政会議 事前質問に対する回答

北区役所

事前質問票

(北区区政会議委員：島村 恒平)

質問項目

防災対策について

関連資料

資料 1 の 16 ページ

質問内容

「北区将来ビジョン 2025～2034 年（素案）」では、「現状」の第 1 項目の中で、北区域で発生が危惧される想定災害として「水害」「上町断層による直下型地震」「南海トラフ巨大地震」の 3 種類が記載されていますが、各災害による北区域の想定被害について具体的な数字等がありましたらご教示願います。

【回答欄】

(北区役所担当課：地域課)

地震（上町断層帯地震、南海トラフ巨大地震）の被害想定については大阪府より公表されています。水害については、ハザードマップにて浸水区域、浸水深を公表しています。それぞれの数値等は別紙のとおりです。

事前質問票

(北区区政会議委員：島村 恒平)

質問項目

子育て施策の充実について

関連資料

資料 1 の 25 ページ

質問内容

「北区将来ビジョン 2025～2034 年（素案）」では、「課題」の第 2 項目として「こども・子育てをとりまく様々な課題に対応するには、乳幼児期から学齢期までの切れ目のない相談体制の充実を図る必要がある。」と記載されていますが、この点に関して、現在、各発達段階においてどのような相談体制が整備されているかご教示願います。

【回答欄】

(北区役所担当課：福祉課)

大阪市では切れ目のない子育て支援をめざし、保健師と子育て支援室の連携など、安心して相談できる環境をつくる「大阪市版ネウボラ」に取り組んでおり、今年度からこども家庭センターを各区に設置し、今まで以上に組織体制を充実させるべく取り組んでいます。

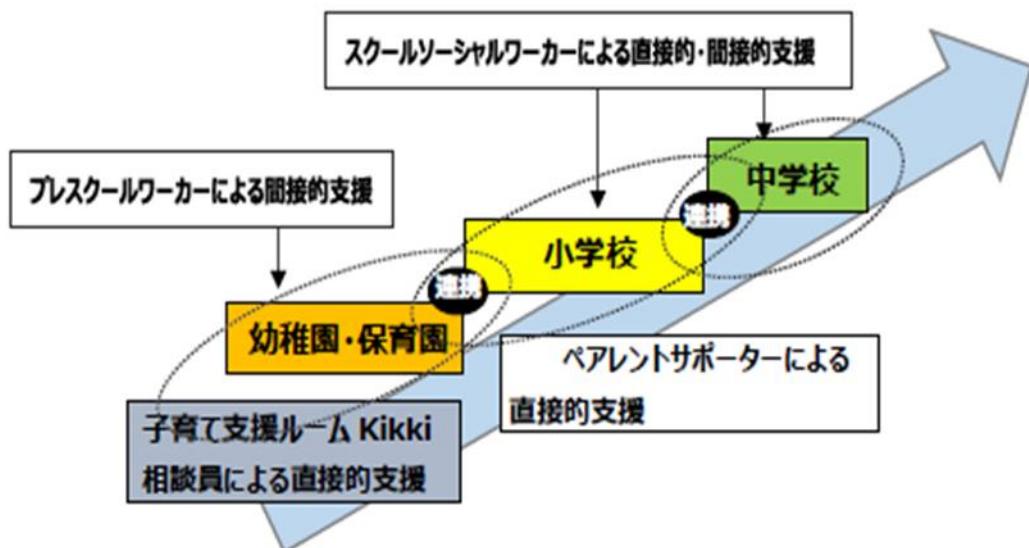
そのような中、北区の福祉課子育て支援室では、保育士、保健師、家庭児童相談員、スクールソーシャルワーカー（SSW）などの専門職を配置し、さまざまな子育てに関わる機関と連携して、保護者の子育てに関する不安や悩みなどの相談に対応できる体制を整え、適切な助言や児童虐待の早期発見・未然防止・必要な社会資源へ早期につなげる取り組みを行っています。

具体的には、未就学児では、健康課において「親子の絆づくりプログラム」や各種健診、訪問、相談などを行うとともに、子育て支援室においても常設の相談窓口に加えて、子どもの成長段階にあわせた子育て支援ルームKikkiでの相談対応、ペアレントサポーターによる保護者への直接的な支援のほか、プレスクールワーカーの巡回による保育園などからの相談対応をおこなっております。また、保育施設や主任児童委員などと連携して、気軽に子育ての相談ができるイベントを適宜、開催しています。

就学児においては、SSWやこどもサポート推進員と市立小中学校の先生方とが連携し、気になる児童の早期発見・支援の着手にとりかかることができる体制を構築するとともに、学校や家庭以外の子どもの居場所づくりについても行っております。

これらの取り組みは、令和4年度から事業委託の形態でおこなっている「子育てぶらっとほーむ事業」を核として展開しており、就学や進学、家庭環境等により子育ての状況に変化があった際にも、専門的知識を持つこれら相談員が相互に連携して、将来を見据えた相談対応や各関係機関への情報提供などを行うことで、未就学期から就学期までの切れ目のない支援体制を構築しています。

「子育てぶらっとほーむ事業」における切れ目ない支援のしくみ



大阪市版ネウボラ：

妊娠、出産や子育てに関して、誰に相談していいのかわからない、どこに相談していいのかわからないという声もある中、その方に必要な支援につながるように、自分の住んでいる地区を担当している保健師がいることを周知し、地区担当保健師との顔の見える関係づくりと、家族ぐるみの支援を継続的に実施する取組みを推進し、すべての子育て家族にとって安心して気軽に相談できる場をめざして「大阪市版ネウボラ」を実施しています。